

2023年4月26日

株 式 会 社    イ ク ヨ  
代表取締役社長 酒井宏修

## 「取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

### 1. 評価の方法について

取締役会の実効性を評価するため、本年4月、取締役会を代表して取締役社長が社外取締役に

取締役会の運営内容や有効性等の意見交換をし、評価を行いました。

その後、4月26日の取締役会において評価結果を説明し課題の共有を行いました。

### 2. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

- 1) 取締役会を意思決定機関、経営会議をモニタリング機関と分けし、取締役会の果たすべき役割及び責務が明確になっていることは評価できる。経営会議資料も取締役にも共有され、実情を把握しやすい。
- 2) 取締役会における議論の活性化、審議の質の向上のため、社外取締役に1名増員し2名とし、また女性も加えたことは、昨今のジェンダーレスに則った良い試みである。
- 3) 本社工場である厚木のパフォーマンスが他工場と比しても最良であるよう、引き続き品質及び生産性を高め、ステイクホルダーに自信もって見学させられる本社工場を目指して欲しい。
- 4) 84期は今までなかった新規事業への投資ができたが、今後の動向については取締役会及び経営会議にて情報共有しながら、事業収益化に向け良策を検討していただきたい。

### 3. 今後の対応

- 1) 現業については、品質不具合ゼロ達成、リードタイム短縮とIT化の急進を掲げ、対応して参ります。
- 2) 今後の企業の発展に向け、グローバル対応、自動車周辺ビジネス模索を進め、議論を深耕させて参ります。
- 3) 全社的なSDGsの取組みについては、コンサルを付けてターゲットが見えてきた段階で開示する計画です。

この評価結果を踏まえ、引き続き取締役会が中期的な視点での議論を重点において、取締役会の実効性のさらなる向上を図っていくことが当社の継続的な発展に寄与するものと考えております。

以上